

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 9月27日更新

事務事業名		下水道事業団委託事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり			所属部	水道局	課長名	水野 孝春
	施策	10	水環境の保全			所属課	上下水道課	担当者名	工藤 一伸
	基本事業	30	水質の浄化			所属班	管理工務班	(内線)	1155
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	下水道法		
	下水	2	1	2	10250		成果優先度評価結果	: ㊹	
							コスト削減優先度評価結果	: -	
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 ~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (18 ~ 27 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	下水道事業認可計画及び両浄化センター改築更新計画に基づき、須屋及び塩浸川浄化センターの段階的な整備、改築及び更新を行う事業である。 須屋浄化センターについては、S56年の供用開始から30年を経過し、各施設が耐用年数を迎え老朽化による劣化及び機能低下が著しく、その問題点を改善・解消するため、必要に応じて改築更新に取り組んできた。また、塩浸川浄化センターについては、H4年の供用開始以来19年を経過し、耐用年数が到来することに加え、H21年度の認可区域拡大を受け流入量の増加に応じた設備増設が必要になっている。 なお、両浄化センター共、H19年度に策定した改築更新計画に沿って、計画的に改築更新を進めるが、事業実施に当たっては、専門性が求められることから、設計、施工管理及び検査まで地方共同法人日本下水道事業団に委託し総括的かつ効率的な業務の実施を行うこととしている。
【業務の流れ】	本事業を実施するために必要となる国庫補助金申請事務、2ヶ年以上をかけて事業を実施するための一括設計審査(全体設計)承認事務、下水道事業団との協定締結事務、協定に基づく各種打合せを含む改築更新の円滑な遂行業務、協定による資金計画に応じた経費支出事務
【主な予算費目】	委託料
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	下水道施設の改築及び更新に当たって、日本下水道事業団に特定するのではなく、市で直接実施できるものについては市が直接発注することにより、地場企業の活用及び技術力の向上を図るよう指示があった。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO) 平成22-23年度継続事業の平成22年度分の通次繰越分(塩浸川浄化センター増設(土木、躯体)工事:52,000千円)の工事委託を実施した。 ※これにより、この事業は廃止となった。	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) ※本事業で実施してきた施設の改築更新については、下水道長寿命化計画策定及び対策実施事業として、取り組むこととなった。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 事業費	千円
→ イ:	平成23年度から下水道長寿命化計画策定及び対策実施事業(新規事業)に移行することによる減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
浄化センター、中継ポンプ場	(単位)
	→ ア: 浄化センター数
	→ イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
機能低下や老朽化している施設が更新され、汚水処理機能が向上する。計画に応じた整備ができる。	(単位)
	→ ア: 処理能力を維持し、停止することなく運転できた年間の割合 %
	→ イ: 計画どおり整備できた事業の割合 %
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠	
処理能力を維持し、停止することなく運転できた年間の割合を見ることで、浄化センターの機能低下や老朽化している施設が更新され、汚水処理機能が向上しているかどうか判断できると考えた。また、計画どおり整備できた事業の割合(改築更新計画)を見ることで、計画に応じた整備ができているかどうか判断できると考えた。	
総トータルコスト 全体計画 ~27年度	
3,192,162	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	21年度 実績(決算)	22年度 実績(決算)	23年度 目標(当初予算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	25年度 予定	26年度 見込	27年度 見込	
① 活動指標	ア	千円	192,600	376,300	394,500	52,000	0	0	0	0	
	イ										
② 対象指標	ア	箇所	2	2	2	2	0	0	0	0	
	イ										
③ 成果指標	ア	%	100	100	100	100	0	0	0	0	
	イ	%	0	87.9	100	100	0	0	0	0	
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円	98,270	199,280		28,600				
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円	84,500	159,200		21,000				
		その他	千円	3,955	10,820		2,400				
		繰入金	千円	5,875	7,000						
	一般財源	(A) 事業費計	千円	192,600	376,300	0	52,000	0	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	7	5	5	2	0	0	0	0
		延べ業務時間	時間	2,100	1,350	1,900	300	0	0	0	0
(B) 人件費計	千円	8,358	5,562	7,828	1,211	0	0	0	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	200,958	381,862	7,828	53,211	0	0	0	0		

事務事業名	下水道事業団委託事業	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 平成22年度に計画していた事業のうち、塩浸川浄化センター増設に係る土木、躯体工事の52,000千円について、継続費逐次繰越分のみ本事業で取り組み、計画どおり完了し目標を達成した。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

処理場の改築は、5ヵ年毎に改築更新計画を策定し、それに沿って実施してきた(従来型)。また施設の整備は、下水道事業認可計画に基づき、流入量に応じて適期に設備増設を行ってきた。
施設の改築及び更新の実施については、日本下水道事業団と協定を締結し取り組んできたが、日本下水道事業団に工事等を委託することが目的ではなく、工事内容によっては市直接発注を行うなど、事業のあり方を見直したため、本事業は平成23年度をもって廃止する。
今後は、下水道長寿命化計画策定及び対策実施事業として計画的に改築及び更新等を進めていく。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 平成23年度を最後に、本事業は廃止し、下水道長寿命化計画策定及び対策実施事業として取り組む。	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						